

建築士受験資格について

- 1) 米子高専建築学科は、山陰地方では数少ない、一級・二級・木造建築士を受験するために必要な指定科目を履修できる学校として国の認定を受けています。
- 2) 一方で、建築士の受験資格を得るためには以下のような基準がありますので、専門科目単位の取りこぼしの無いようにしっかりと学んでください。
 - (1) 本校を卒業しただけでは「建築士の受験資格」は得られません。次ページの一覧表に示す所定の専門分野別の単位の修得が必要です。
 - (2) 専門の単位をすべて修得した場合は、全く問題ありません。
 - (3) 特に単位を落とせない代表的な科目には以下のようなものがあります。
 - 二級建築士（卒業後すぐに受験できる）の受験資格：
 - 建築生産（5年）、都市計画II（5年）
 - 一級建築士（卒業後4年の実務経験必要）の受験資格：
 - 建築生産（5年）、都市計画II（5年）
 - 建築環境（4年）、建築設備（5年）、建築材料（4年）
- 3) 上記のような指定科目をきちんと履修した場合、卒業後すぐに二級建築士を受験することができます。さらに、専門的な実務を4年間経験した後には一級建築士の受験資格を得ることができます。建築士を受験できる年齢については以下を参考にしてください。

指定科目	21歳	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
全修得で本科卒業	2級受験fix				実務4年で1級受験								
2級指定科目の未修得	実務経験7年以上  落とすと2級及び1級受験資格なし 建築生産(5年) 都市計画II(5年)							2級受験(最短期間でも)	2級建築士として(2級取得後に)実務経験4年以上			1級受験(最短期間でも)	
1級指定科目の未修得	2級受験fix	2級建築士として(2級取得後に)実務経験4年以上				1級受験(最短期間でも)							
	落とすと1級受験資格なし 建築環境(4年)、建築設備(5年) 建築材料(4年)												

(図中の専門科目は、単位を落とせない代表的な科目を示しています。詳細は教員へ確認してください。)

学校種別、建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

■大学(短期大学を除く。)、防衛大学校、職業能力開発総合大学校(長期課程又は応用課程の卒業者に限る。)、高等専門学校(本科+専攻科)、職業能力開発大学校(応用課程の卒業者に限る。)

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位	6単位	6単位	6単位
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位			
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位			
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位			
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

■短期大学(修業年限が3年であるものに限る。)

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位	6単位	6単位	6単位
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位			
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位			
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位			
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	50単位	40単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	3年	4年	4年	0年	1年	2年

■短期大学、**高等専門学校(本科)**、職業能力開発総合大学校(専門課程のみの卒業者)、職業能力開発大学校(専門課程のみの卒業者)、職業能力開発短期大学校

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位	6単位	6単位	6単位
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位			
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位			
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位			
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	40単位	40単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	4年	4年	4年	0年	1年	2年

■高等学校、中等教育学校

指定科目	二級・木造建築士試験	
①建築設計製図	3単位	3単位
②建築計画	2単位	2単位
③建築環境工学		
④建築設備	3単位	3単位
⑤構造力学		
⑥建築一般構造		
⑦建築材料	1単位	1単位
⑧建築生産		
⑨建築法規	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	10単位	10単位
⑩その他(b)	適宜	適宜
(a)+(b)	20単位	15単位
必要な実務経験年数	3年	4年

指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: 高等専門学校 所在地都道府県: 鳥取県 学校名 課程名: 米子工業高等専門学校 建築学科	学校課程コード 3131-001-110 審査受付番号: 131195
対象入学年: 平成25年(西暦2013年)4月入学	修業年限: 5年 確認日: 2012/12/26
必要な実務経験の最少年数: 一級:4年 二級・木造:0年	

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	設計製図I	1年	2
①建築設計製図	設計製図II	2年	3
①建築設計製図	設計製図III	3年	6
①建築設計製図	設計製図IV	4年	6
①建築設計製図	設計製図V	5年	3
①建築設計製図	CAD・CG	4年	2
小計			22
②建築計画	建築計画I	3年	2
②建築計画	建築計画II	4年	2
②建築計画	都市計画I	4年	2
②建築計画	都市計画II(前期)	5年	1
②建築計画	建築史I	3年	2
②建築計画	建築史II	4年	2
②建築計画	近代建築論	5年	2
②建築計画	建築意匠論	5年	2
小計			15
③建築環境工学	建築環境	4年	2
小計			2
④建築設備	建築設備	5年	2
小計			2
⑤構造力学	構造力学I	3年	2
⑤構造力学	構造力学II	3年	2
⑤構造力学	構造力学III	4年	2
⑤構造力学	構造解析	5年	2
小計			8
⑥建築一般構造	建築構造I	1年	2
⑥建築一般構造	建築構造II	2年	2
⑥建築一般構造	木質構造	5年	1
⑥建築一般構造	鋼構造	5年	2
⑥建築一般構造	鉄筋コンクリート構造	5年	2
⑥建築一般構造	基礎構造	5年	1
⑥建築一般構造	構造計画	5年	2
小計			12
⑦建築材料	建築材料	4年	2
小計			2
⑧建築生産	建築生産	5年	2
小計			2
⑨建築法規	都市計画II(後期)	5年	1
小計			1
⑩その他	建築入門	1年	1
⑩その他	建築情報II	3年	2
⑩その他	創造実験・演習	5年	3
⑩その他	デザイン基礎I	1年	2
⑩その他	デザイン基礎II	2年	2

指定科目に該当する開講科目一覧

2/2

学校種別: 高等専門学校 所在地都道府県: 鳥取県 学校名 課程名: 米子工業高等専門学校 建築学科	学校課程コード 3131-001-110 審査受付番号: 131195
対象入学年: 平成25年(西暦2013年)4月入学 必要な実務経験の最短年数: 一級:4年 二級・木造:0年	修業年限: 5年 確認日: 2012/12/26

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩その他	デザイン基礎Ⅲ	3年	2
		小計	12
		①～⑨計	66
		①～⑩計	78